

赤澤 豊（あかさわ ゆたか）

〔書道〕

昭和 23(1948)年 5 月 16 日生 （満 76 歳）

宇都宮市在住

氏は、21 歳の時より七海水明氏に師事し、書の研鑽を積まれ、栃木県芸術祭美術展芸術祭賞や宇都宮市民芸術祭芸術祭賞をはじめ、数々の書展で最高賞を受賞されるなど、書家として高い評価を受けています。主宰する「朴豊会」において、多くの優れた門下生を輩出されるとともに、宇都宮市民芸術祭及び栃木県芸術祭において、長きにわたり運営委員や審査員を務められ、後進の育成及び書の発展と普及に寄与されています。

栃木県書道連盟においては、事務局長から会長まで歴任される中で、中国浙江省の書家を招いた友好交流に尽力され、本県と中国の相互において交流書展が幾度も開催されるなど、書道を通じた国際交流にも貢献されています。

また、宇都宮市文化協会においては、副会長兼事務局長及び会長を歴任され、市内小中学校・特別支援学校等での「ふれあい文化教室」の充実に加え、新たに企業・団体等に会員講師を派遣する「ふれあい文化教養講座」を開設されるなど、幅広い文化芸術活動の振興に尽力されています。

さらに、平成 27(2015)年に行われた日光東照宮 400 年式年大祭において、五重塔の前で大作「壽」を揮毫されたほか、平成 29(2017)年には宇都宮百人一首市民大会と協力し「百人一首書展～あなたが選んだ好きな和歌～」を旧篠原家住宅で開催し、「百人一首のまち うつのみや」の発信に様々な企画で関わるなど、書道にとどまらない本県文化の牽引役として活躍されています。